

海妻甘蔵 國學者。文政七年八月筑前國生れ、明治四十一年六

月二十七日歿（一八四〇一九〇九）。舊姓井上、講道場、幼名山田、初名周

那、通稱靜庵・久左衛門・甘藏。號名柴野微庵、號山口齋。福岡藩儒

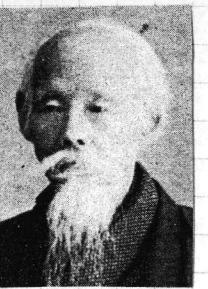
井上學園の次男、嘉永二年海妻氏を繼ぐ。慶應二年大蔵省監修演武勸

業兼文部省監修總督、明治八年高倉神社祠官、權大講義。

著、小田部降敍纂錄・臥牛寶禪考述・小田部近太郎再訂・勝平如葉

道前怡十城遺稿志』（校正・明治三十二年一月一日）・『小田部降敍續編』（

『筑前人物遺聞』（大正元年正利校訂、昭和八年）（明治三十一年一月二十日）等。



## 筑前人物遺聞

海妻 甘蔵 著  
廣渡 正利 校訂

筑前人物遺聞

学問だけでなく、人を育てる本、教育者必読の書！  
本書は、明治人が現代人に残した学問だけでは得られない人物形成の為の遺言である。  
本書は現代教育に苦難を喰らしつつ、錢で買えない親子の情愛、友情等が温く行動に滲みでている。今大きな問題になっているイジメの解決策が、明治時代すでに書かれている点で、現在社会に大きな光となり人生の師としても最適の書である。

3321-1116-7453 定価 1,500円